森林官からのおたより

福島森林管理署　玉ノ井森林事務所
森林官　縣（あがた）　佐知子

『ほんとの空』の下が仕事場

玉ノ井森林事務所は、管理面積約5,000ヘクタール、日本百名山のひとつ安達太良山の大玉村と二本松市にかかる部分を含み、管内の約6割は磐梯朝日国立公園に指定されています。

4つの温泉に加えて、心癒される2つの美しい遊歩道や、水源の森百選に選ばれている遠藤ヶ滝を含む大小の滝が訪れる人を楽しませてくれます。

薬師岳から見た安達太良山山頂

また、安達太良山の登山道では、シャクナゲ、ウラジロヨウラク、レンゲツツジなど数多くの花が見られ、花の百名山とも呼ばれています。さらには秋の美しい紅葉、冬はスキー等のレジャー施設としての利用等、四季を通して楽しむことができる山として、県外からも含めて多くの観光客で賑わっています。そして、この山の美しさは高村光太郎著『智恵子抄』のなかでも書かれていて、妻智恵子が故郷を思い安達太良山の上の空を『ほんとの空』と言ったことで知られています。

最近では、企業のCMでその名前が聞かれたり、分収造林での植林活動がニュース番組で取り上げられたりしています。

また、眺めて美しいだけでなく、緩やかに広がる山の裾野では、かつては製品事業所、林道事業所、苗畑等があり、各種事業も多く行われていました。

『つながり』を実感する毎日

そんな多方面で利用されている山なので、登山道を整備している山岳会、観光資源として利用しようとする行政関係者、先祖代々山を見守ってくれている方、地元の造林業者…と様々な方と協力しながら仕事を進めています。私自身も着任当初から、お声がかかれば積極的に顔を出してできるだけ多くの意見を聞くように心掛けてきたこともあり、密接な関係を築きつつあると思います。森林官になって丸2年、様々な立場の方からの話を聞くなかで、同じように山に愛着をもっていながらも、それぞれ考え方や利用方法の違いから、紙面を賑わすような問題が起きたこともありました。山を本当に愛している人たちの輪に入ったことで、森林官として山を良くしたいという思いだけでなく、山を取り巻く人たちがもっと気持ちよく利用できるような仕事をしたいと考えるようになりました。こんなにたくさんの〝つながり〟を感じられる仕事をとても誇りに思うとともに、地域からの森林事務所への期待も少なからず感じています。

自然渓谷遊歩道の魚止めの滝

これからの抱負

現場で仕事をして痛感したことは、林野庁だけで山を守っているのではない、ということでした。山で働く人、山を愛する人、山で楽しむ人等々、たくさんの人によって支えられていることを実感しました。

これまでに教えてもらった山の楽しさを一般の方に伝えていくことで、自然や山を守る「仲間」を増やす仕事にも携わっていきたいと思います。

森林教室で説明する筆者